

2021 年度冬作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

2021 年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2022 年 9 月 8 日（木）に Zoom を用いた Web 会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者 37 名、委託関係者 26 名ほか、

計 79 名の参集を得て、除草剤 10 薬剤 (29 点)、生育調節剤 1 薬剤 (3 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

2021 年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤 (1)小麦

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.AK-01 液 グリホサートイソプロピルア ミン塩:41% [TAC普及会]	実	一年生雑草	茎葉処理 (全面)	耕起7日以前 雑草生育期	250~500mL 散布水量50~ 100L	全土壌	東北以南		
		多年生イネ 科雑草			500~750mL 散布水量50~ 100L		北海道		
		一年生雑草		播種後出芽 前,雑草生育 期(草丈30cm 以下)	250~500mL 散布水量25~ 100L		東北以南		
2.ANK-553(改) 乳 ペンディメタリン:30.0% [BASFジャパン]	実・継	一年生雑草	土壌処理 (全面)	小麦生育期, 雑草発生前	300~500mL 散布水量70~ 100L	全土壌(砂 土を除く)	全域	・キク科,ツユクサを除 く。 ・小麦生育期処理は, 播種後の土壌処理剤 との体系で使用する。	・小麦生育期,雑草発 生前での一年生イネ 科雑草に対する効 果・薬害の年次変動 の確認(東北以南)
3.BAH-1517 乳 シンメチリン:75.0% [BASFジャパン]	継								・効果・薬害の確認

A. 除草剤 (2)大麦

1.AK-01 液 グリホサートイソプロピルア ミン塩:41% [TAC普及会]	実	一年生雑草	茎葉処理 (全面)	耕起7日以前, 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	250~500mL 散布水量50~ 100L	全土壌	全域		
				播種後出芽 前,雑草生育 期(草丈10cm 以下)	250~500mL 散布水量25~ 100L		東北以南		
2.ANK-553(改) 乳 ペンディメタリン:30.0% [BASFジャパン]	実	一年生雑草	土壌処理 (全面)	大麦生育期, 雑草発生前	300~500mL 散布水量70~ 100L	全土壌(砂 土を除く)	東北以南	・キク科,ツユクサを除 く。 ・大麦生育期処理は, 播種後の土壌処理剤 との体系で使用する。	
3.BAH-1517 乳 シンメチリン:75.0% [BASFジャパン]	—								(作用性)

A. 除草剤 (3)水稲刈跡

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.NFH-101 液 (旧:MRS-301) グリホサートイソプロピルア ミン塩:10% 2, 4-PAイソプロピルアミン 塩:5% [ニューファム]	継								・効果,薬害の確認
2.NFH-131 液 (旧:MRS-195) グリホサートイソプロピルア ミン塩:41% [ニューファム]	継								・効果,薬害の確認

A. 除草剤 (4)水田畦畔

1.JC-401 粒 (旧:NHS-50) 塩素酸ナトリウム:50% [日本カーリット]	実・継 従 来 通 り	一年生雑草	土壌処理 (全面)	水稲刈取後 雑草生育期 (草丈20cm以 下)	20~40kg	全土壌	東北以南		・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
		多年生広葉 雑草		水稲刈取後 雑草生育期 (草丈30cm以 下)					
2.SBH-207 粒 (旧:NHS-50) 塩素酸ナトリウム:50% [エス・ディー・エス バイオ テック]	実・継	一年生雑草, 多年生雑草	土壌処理 (全面)	水稲刈取後 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	20~40kg	全土壌	東北以南		・スギナに対する効果 の確認(生育休止期) ・キシユウスズメノヒエ, アシカキに対する翌 年の発生低減効果の 確認
		スギナ							

B. 生育調節剤 (1)小麦

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	判定	使用規準							継続の内容
		対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.BAW-0907 液 クロルメコート 65.8% [BASFジャパン]	実	秋播き小麦 節間伸長抑 制による倒 伏軽減	茎葉散布	幼穂形成期	150~200mL 散布水量100L	全土壌	北海道		
				出穂前20~10 日(草丈40~ 60cm)	200~300mL 散布水量100L				
				出穂前40~20 日(節間伸長 始~第2節出 現期)	150~300mL 散布水量100L				